



LNGの取引量が拡大

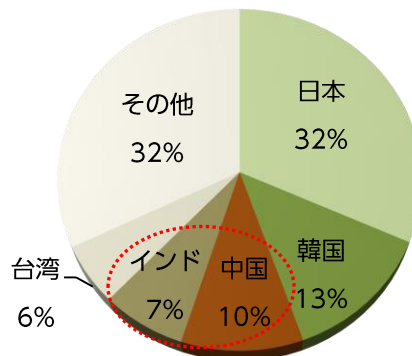
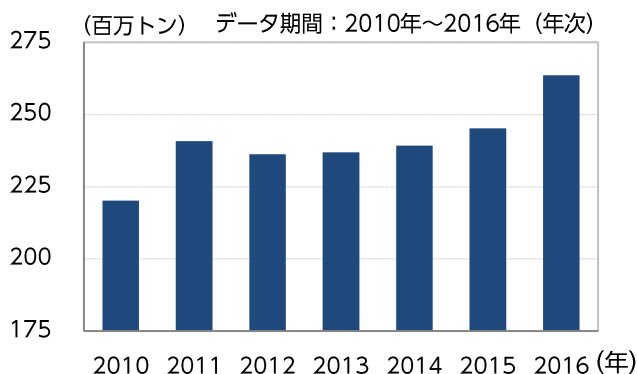
オーストラリアの生産が本格化し中印が需要をけん引

- オーストラリアが第3の資源輸出品として位置付けるLNG（液化天然ガス）の取引量が拡大。オーストラリアの輸出本格化と中国やインドの需要増がけん引。
- 今後もLNGの需要拡大が見込まれ、オーストラリアの経済成長の一翼を担う可能性も。

- 世界のLNG取引が拡大しています。国際LNG輸入者協会によると、2016年の取引量は264百万トンと前年比7.5%増加し、過去最高を更新しました。中国とインドの需要増加（各前年比37%、30%増）が取引量を押し上げています。供給面ではオーストラリアの生産が本格化（同52%増）しています。
- 常温では気体の天然ガスは一定温度まで冷却すると液化し、体積が約600分の1になることから一度に多くの量を輸送することが可能です。二酸化炭素の排出量が石炭や石油に比べて少なく、環境にも優しい資源とされています。中国、インドは石炭依存から環境負荷が少ないガス火力へ発電用燃料の切り替えを進めており、その動きが需要増の一因となっています。
- 国際エネルギー大手のBP社は、世界のエネルギー源に占める天然ガスの割合が2035年には石油や石炭と同程度になるとみています。オーストラリアはその将来性を見越してLNGを第3の資源輸出品と位置付け、開発に資金を投じて来ました。同国産業資源省は、2018年度にはLNGが石炭の輸出額に迫るものと予想しています。
- 環境への配慮やエネルギー源の多様化等からLNG需要は今後も拡大することが見込まれます。鉄鉱石と共に、LNGがオーストラリア経済成長の一翼を担うことも想定されます。

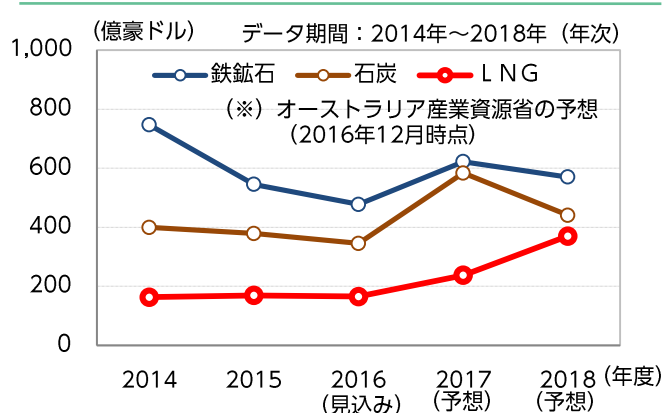
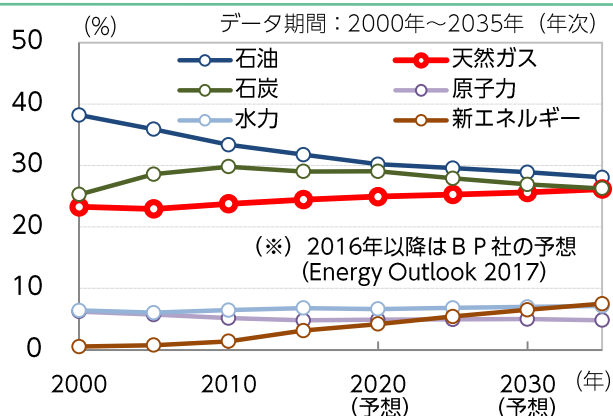
図表1：世界のLNG取引量

図表2：LNGの消費国と消費量比率（2016年時点）



図表3：世界のエネルギー源別構成比

図表4：オーストラリア資源輸出額予想



出所) 図表1～2は国際LNG輸入者協会、図表3はB P社、図表4はオーストラリア産業資源省のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会